

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 8 月 11 日

【評価実施概要】

事業所番号	0 5 7 2 7 0 6 3 2 3
法人名	社会福祉法人 横手福寿会
事業所名	グループホーム ひだまりの家
所在地	秋田県横手市増田町吉野字梨木塚101-1 (電 話) 0182-55-1414
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通三丁目 9-3 1
訪問調査日	2009年8月6日

【情報提供票より】 (2009年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	1 2 年	1 2 月	6 日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18	人
職員数	14 人	常勤14人,	非常勤 人,	常勤換算 13.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り 1階建て
	1 階建ての ～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食 円 昼食 円		
	夕食 円 おやつ 円		
	または1日当たり 1,050 円		

(4) 利用者の概要 (7月1日現在)

利用者人数	17 名	男性 8 名	女性 9 名
要介護 1	5	要介護 2	4
要介護 3	7	要介護 4	1
要介護 5		要支援 2	
年齢	平均 88.7 歳	最低 80 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	平鹿総合病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周辺は緑豊かな田園や山々、直ぐ後ろには成瀬川が流れる、景観豊かで四季の移ろいを感じる自然環境に恵まれたホームです。横手市南部に平成12年に開設され、9年の実績を積み重ね、「思いやりのある介護・ゆったりとした介護・寄り添った介護」という理念のもと、全職員で自分の受けたい介護を考えながら、サービスの質の向上を目指し取り組んでいます。敷地内には畑があり、利用者と職員の共同作業により一緒に収穫を楽しみ、利用者のアドバイスや味つけにて作られたメニューに舌鼓を打ち、味わっております。各種委員会が組織され、日常の課題等に対して話し合いできる機会が設けられており、職員間の連携が図られ、共通認識のもと、チームワーク良くケアに取り組まれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4) 前回評価での主な改善項目はありませんでしたが、ホームは住宅地から離れた場所に位置しており、地域住民等が気軽に立ち寄ることが困難であるが、ホーム便りを年4回、500部程度を作成し、地域住民及び関係機関に配布し、ホームの啓発に努められています。 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4) 全職員が自己評価を行い、集計後、評価の低かった項目については年間の目標に取り入れ、具体的内容を決め、毎月会議等にて反省を行いながら取り組まれています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6) 会議は3ヶ月に1回実施されています。家族、市担当課職員、民生委員、ホーム職員のメンバー構成で、内容はホームの状況や行事等の定期報告のほか、適時テーマを決めて行っています。忌憚のない意見交換が行われ、出された意見については運営に反映させる取り組みを行っています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8) 契約時の説明、掲示や意見箱の設置によって、苦情要望のあった場合の対応方法は確立されています。また、毎月の通信便り、面会時や電話で意見要望を引き出す働きかけを行い、改善に向けた話し合いにより、運営に反映しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3) 地域向け広報を年4回発行され、ホームの状況や認知症に対する理解を得られるよう努めています。ホームは住宅地から離れている立地環境にあるため、日常的な地域住民との交流は難しいが、運営推進会議のメンバーに地域の民生委員が参画されており、ホーム側から地域の活動に参加する機会作りに努めています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム職員が自分たちが受けた介護をもとに、「思いやりのある介護・ゆったりとした介護・寄り添った介護」という事業所独自の理念作り上げ、家庭的で地域との密着サービスの役割を理解確認しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の職員会議などを利用して話し合いながら、理念を具体的に考え、日々意識しながら取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域向け広報を年4回発行され、ホームの状況や認知症に対する理解を得られるよう努めています。ホームは住宅地から離れている立地環境にあるため、日常的な地域住民との交流は難しいが、運営推進会議のメンバーに地域の民生委員が参画されており、ホーム側から地域の活動に参加する機会作りに努めています。	○	要介護度の悪化やホームの立地環境で、利用者と地域との関わりが希薄との現状認識がホームにあるので、運営推進会議や行政など関係者と話し合いを持ちながら、積極的に地域の活動に参加されることを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価を行い、管理者が集計後、評価の低かった項目については年間目標に取り入れ、具体的内容を決めて取り組み、毎月会議等にて反省を行いながら、サービスの質の確保に努めています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は3ヶ月に1回実施されています。家族、市担当課職員、民生委員、ホーム職員のメンバー構成で、内容はホームの状況や行事等の定期報告のほか、適時テーマを決めて行っています。忌憚のない意見交換が行われ、出された意見については運営に反映させる取り組みを行っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要時には訪庁しているほか、電話での連絡や運営推進会議での連携にて関係づくりに努めています。また、地域包括支援センター職員が月に2回訪問してくれており、課題の相談等をしながら実態の共有を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月のホーム便りで活動状況や身体状況、暮らしぶりが報告されるほか、面会時や電話でも随時の報告が行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱設置や面会時、電話等によって、意見要望を聞き出しているほか、個々の利用者の家族等の立場に立って、家族アンケートを行っており、集まった意見要望は会議で取り上げ、改善できるように取り組んでいます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動交代は法人内で運営する介護老人保健施設やグループホーム間であるが、その都度説明して利用者への影響に配慮しており、家族にも報告しています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には希望や段階に応じて積極的に参加できるように取り組まれ、全体会議にて復命報告が行われています。また、内部研修も定期的開催され、働きながら学べる機会を確保されています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡協議会に所属して、定期的な研修や情報交換会へ積極的に参加しています。また、職員同士の交流や相互訪問により、日々のサービスに役立つ実践的な連携取り組みをしています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	自宅への事前訪問やホームの見学、説明話し合いを行いながら、本人および家族が徐々にホームに馴染めるように配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	個々の利用者の生活歴等の情報を元に、日々の生活の中において、介護者目線ではなく、共に過ごし、学び、支え合う関係づくりが行われています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	管理者及び計画作成担当者、担当職員が日常の生活を通しての会話や家族からの聞き取り等により、個々の思いや暮らし方の希望、意向の把握に努められ、職員間での情報の共有が図られています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや意向、家族の要望等を元に、利用者がより良く暮らせるための課題について、担当者会議にて話し合いを行い、反映された介護計画が作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月を基本として見直しを行い、日々の状態観察や状況把握を行いながら、状態が変化した場合など必要に応じて計画の見直し変更が行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームとして通院への送迎のほか、外出・帰省、墓参りの際の送迎や車いすの貸し出し、付き添いなど柔軟な対応をされています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望の元、個々のかかりつけ医に通院受診できるように支援されているほか、かかりつけ医が特定されない場合は、適切な医療が受けられるよう、協力医療機関で対応することに説明を行い、同意を得ています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用契約時、重度化した場合や終末期についてのホーム側の方針を伝え、家族の意向を確認して、対応方針の統一を図っています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	守秘義務については、採用時に誓約書を取っています。話し方や言葉かけについては、意識的に取り組めるよう会議で話し合っており、穏やかでプライバシーにも配慮された対応をされています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課は設けておらず、利用者個々のペースを尊重され、食事や入浴、散歩など利用者からの希望にそって支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い物、調理方法や味付け、盛り付け、配膳下善など食事の一連の流れにおいて、共同作業を行い、楽しみながらの食事が行われているほか、外食も取り入れています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	毎日入浴することも可能であり、入浴時間についても個々の希望を取りながら本人の意向にそった支援が行われています。また、完全な個人浴により羞恥心や抵抗感にも配慮されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や個々の身体機能に応じて、調理や掃除、畑仕事などで、できることや支援が必要なことを見出し、役割や楽しみごとになり得るかを把握、支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、畑仕事、ドライブ、外食など、希望にそって日常的に外出できるような支援を行っています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	職員は鍵をかけることの弊害を理解されており、夜間以外は施錠されておりません。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	年2回、避難訓練（日中想定と夜間想定）が消防署、地域協力員の協力の元、行われており、通報訓練も定期的に行われております。また、地域の消防団には緊急時の協力を得ることを確認しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や食べ残しを記録チェックしており、少食や栄養不足の利用者には柔軟にアイディアや方法を考え、栄養補給や水分摂取できるように支援しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には食事用のテーブルや椅子のほか、畳敷きのスペースを設け、テレビや座椅子が配置され、季節感を取り入れた装飾品が飾られ、家庭的で温かみあり、居心地良く過ごせるよう工夫されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が身の回りで使用していた愛用品や家具などが自由に持ち込まれ、居心地良く暮らせるよう配慮しています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。